

1 教科について

国 語

昨年度の課題

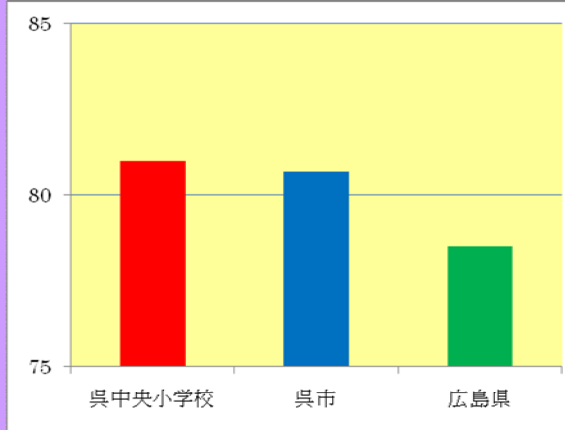
- ① 読むこと
段落相互の関係を捉え、内容を理解し要点を押さえて要約する力をつける。
- ② 書くこと
情報を整理し、分かったことと考えたことを明確にし、段落を意識して書く力をつける。

昨年度の課題を受けて具体的に取り組んだ事項

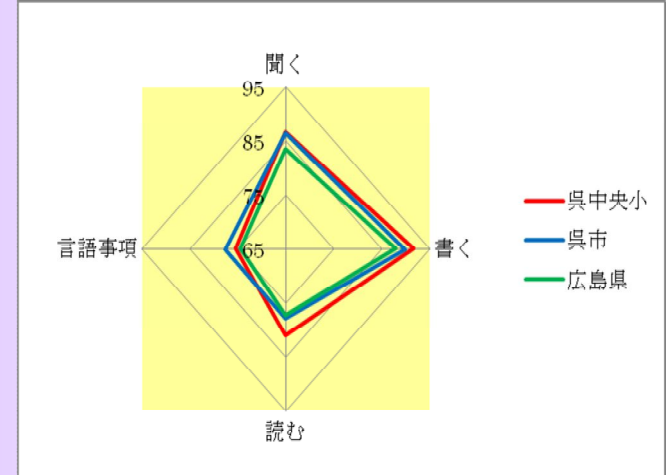
- ① 各単元でしっかり音読を行い、整理しながら読む力をつけていった。(各学年でつけた力を明確にした。)
- ② 国語科だけでなく各教科の学習で、自分の考えや思いを書いたり発表したりする表現する場を意識して設定するようにした。
- ③ 5・6年生は中学校教諭による、言語技術向上のための乗り入れ授業を計画的に行った。
- ④ 学年でドリルやミニテストの時間を設定して、漢字やローマ字の言語事項の力を高めた。

「基礎・基本」定着状況調査通過率

広島県平均	78.5%
呉市平均	80.7%
呉中央小平均	81.0%



	聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項
広島県平均	78.5	87.9	77.3	74.5
呉市平均	80.7	89.8	77.8	77.6
呉中央小平均	86.6	91.7	81.0	75.5



重点課題

- 【読む】 それぞれの段落に何が書かれているか理解し、その段落が文章全体の中で果たす役割をつかむ。
- 【言語事項】 漢字の表記において文脈から意味を推察したり、様々な読み方や書き方を身に付けるなど語彙力を高める。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ① 目的に応じて文章の内容や文章構成を捉え、自分の考えを明確にしながら要旨をまとめるなどの表現活動を充実させていく。
- ② 小中学校で協力して作成した、9年間を見通した発達段階に応じた読みの手引きを、授業づくりに活用する。
- ③ 漢字の表記においては、各学級の児童の実態把握を行い、止め、はねなど、細部まで意識がいき届くようにさせるなど定着に向けて工夫して指導する。
- ④ 高学年では中学校教諭による言語技術の向上を目指した乗り入れ授業を年10時間行う。

算 数

昨年度の課題

- ① 単位の換算の理解が十分でない。
- ② 伴って変わる数量は理解できているが、その変化の法則を式化することが難しい。

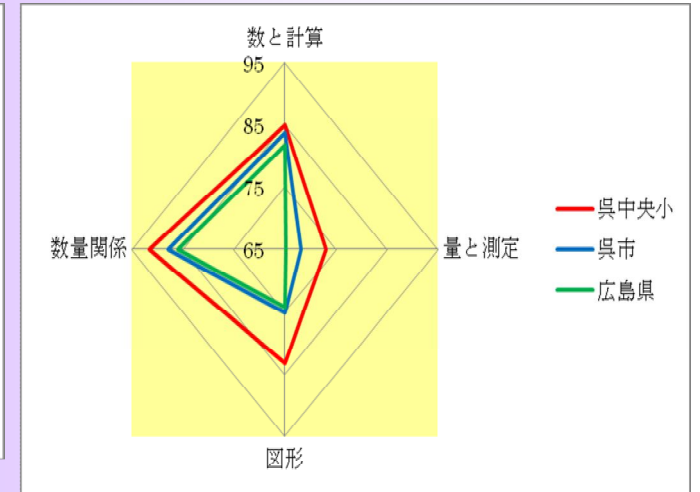
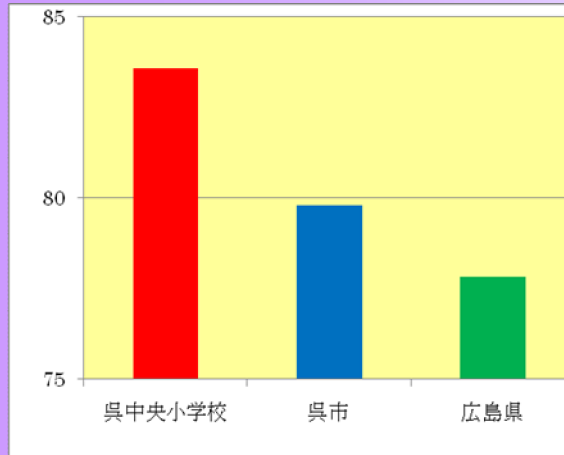
昨年度の課題を受けて具体的に取り組んだ事項

- ① 単位に対する量感を高めるために、授業の中で量感を伴った体験活動を行った。
- ② 学習したことを日常生活で実践できるような場面を取り入れた。
- ③ 自力解決の場面で、自分の考えとその根拠を文章で表すように指導した。
- ④ 中学校教諭の課題学習の乗り入れ授業を計画的に行い、算数への興味関心を高めた。

「基礎・基本」定着状況調査通過率

広島県平均	77.8%
呉市平均	79.8%
呉中央小平均	83.6%

	数と計算	量と測定	図形	数量関係
広島県平均	81.7	65.2	74.3	86.0
呉市平均	83.7	68.2	75.1	87.8
呉中央小平均	84.9	73.0	83.0	91.5



重点課題

【数量関係】文章や図などの与えられた条件から正しく立式や作図ができる力を高める。

【量と測定】量や重さのイメージが生活の中で実感として捉えられるようになる。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ① 文章題を読み取って図式化する問題に取り組む。
- ② 与えられた条件から図形を描く活動を取り入れる。
- ③ 単位が表す量や広さなどが、日常生活の中で実感できるように、体験的な活動を継続して行う。
- ④ 小中一貫校の特色を活かした中学校教諭による乗り入れ授業では、重点課題を取り上げた課題解決学習を行う。

2 意識調査（「基礎・基本」定着状況調査：学校質問紙調査、児童質問紙調査）

生活・学習

改善したい点	今後の具体的な取組みの内容
<p>◎ 「自分にはよいところがある」と回答した児童が 82.6%いたのに比べ、「自分のよさは、まわりの人から認められていると思う」との質問に肯定的な回答をした児童が 68.5%と少なかった。</p>	<p>◎ 一人一人が認められる学級経営の推進, 道徳の計画的な実践, 月一度の「ふれ合いタイム」の中での個別での肯定的な評価を行う。懇談会や学年通信で啓発を行い, 家庭でも肯定的な評価を心がけてもらう。「夢チャレンジの時間」や他学年との交流の中で人のために役立っている実感を持たせる。</p>

教科

教科	児童の回答と学校の指導についての課題	授業改善の方向性や具体的な取組み
<p>国語・算数</p>	<p>◎ 「国語の授業を楽しみにしている。」と回答した児童が 64.1%で、算数の 77.2%と比べ明らかに低い。</p> <p>◎ 「理由をあげて解き方の説明をしている。」と回答した児童が 64.1%で、他の回答の中で明らかに低かった。</p>	<p>◎ 教材研究に時間をかけ, 教材の工夫や質問の精選など行い, 単元のねらいを児童に意識付けることで, 達成感を実感できる国語の授業づくりを進める。中学校教諭の乗り入れ授業を計画的に行い, 国語科への興味を高める。</p> <p>◎ 本校の算数部会で研修を進めている, 既習した知識や技能を総合的に活用する力を高める授業づくりを進めるとともに, 「ことばの教育」と関連を図り, 要旨を読み取る力や具体的に説明する力を高めていく。</p>

指導改善のための実施スケジュール

		～9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
		Plan			Do	Check 検証		Action	Check	
		<div style="border: 1px solid green; padding: 5px; display: inline-block;">結果の分析・H22の改善計画の見直し H23の改善計画の実施</div>				<div style="border: 1px solid green; padding: 5px; display: inline-block;">次年度の計画</div>				
【教科】		<div style="text-align: right;">チェックテストの実施</div>								
国語	音読練習 辞書の活用	調査とまとめ	意見文	説明的文章の要約	物語の読み取り	<div style="writing-mode: vertical-rl; border: 1px solid black; padding: 2px;">学校評価児童アンケート・夢チャレンジアンケートの実施</div>	意見文	改善計画	今年度のまとめ 研究内容の検討	
	表現力の育成 書く・話す活動	手紙 作文	新聞		文集					
	スキルタイム	(言語技術の向上)								
	スキルチャレンジ	(漢字練習, フラッシュカード, 速読, 詩の音読)								
算数	読書タイム									
	季節の詩の掲示								改善計画	
	スキルタイム	(数と計算・図形・単位の知識技能の習熟を中心に)								
	スキルチャレンジ	(本時の学習内容に関連する既習内容を中心に)								今年度のまとめ 研究内容の検討
小中一貫	学び方の指導	(文章題の読み方やノート指導の充実)								
	数学的活動	(日常生活に活用できる学力の育成を意識した授業づくり)								
	乗り入れ授業	(国語科・数学科の中学校教諭による年10時間ずつの乗り入れ)								
	小中合同研	(小中教師による部会に分かれての計画的な研修)								
【生活・学習】	基本的生活習慣 の定着(生活ふり 返しカード・ 懇談会への取 組)	あいさつ運動へ の取組 委員会を中心に読 書活動への取組	にこにこマラソ ンの実施 道徳(携帯電話に関 する資料を扱う)	2学期教育反省	基本的生活習慣 の定着(生活ふり 返しカード・懇談 会への取組) にこにこ縄跳び	(検証)		3学期教育反省	今年度のまとめ 次年度の計画立案	
	(道徳・総合的な学習の時間「夢チャレンジ」の計画的実施)							改善計画		

